

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
現代社会: Present-Day Society		1MB	2	90分×30回	履修	講義・通年	—	
教員名		山下 祐志: YAMASHITA Yuji						
授業概要	本講義は、高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割を担っている。したがって、教科書の内容に制約されずに、広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ、社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身につけてもらえるように工夫したいと思う。							
	到達目標			評価方法				
(1) 社会科の基礎的な知識として、例えば日本の県名や都市名、半島名が正しく書ける。 (2) 環境問題や時事問題、国際政治・経済の動向に関心を持つことができ、これらに関する新聞記事などの論調を概ね理解できる。 (3) 青年期の発達課題を自覚できる。			①中間試験、②期末試験、③小テストの成績を総合評価する。評価配分は、①40%、②40%、③20%とする。					
学習・教育目標		(F)	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	回	項目	内 容		回	項目	内 容	
	第1	導入授業	シラバスの説明と、現代社会の勉強の仕方について、中学校の復習問題を探り入れながら解説する。		第16	現代の経済と国民福祉	技術革新と産業社会の変化について考える。	
	第2	現代に生きる私たちの課題	地球環境と私たちの未来について考える。		第17	同上	市場経済の仕組みについて考える。	
	第3	同上	同上		第18	同上	同上	
	第4	同上	同上		第19	同上	企業の働きについて考える。	
	第5	同上	資源・エネルギー問題と私たちの生き方について考える。		第20	同上	同上	
	第6	同上	科学技術の発達と生命について考える。		第21	地図帳学習	地図帳を利用して、基礎知識を確認する。	
	第7	中間まとめ	前期の中間まとめとして試験を実施する。		第22	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。	
	第8	現代の社会生活と青年	大衆社会の課題について考える。		第23	現代の経済と国民福祉	財政と金融政策について考える。	
	第9	同上	情報化・国際化社会の課題について考える。		第24	同上	同上	
	第10	同上	少子・高齢化社会の課題について考える。		第25	同上	同上	
	第11	同上	青年期の特質と発達課題について考える。		第26	同上	変化する日本経済について考える。	
	第12	同上	青年期の特質と発達課題について考える。		第27	同上	同上	
	第13	同上	青年期の特質と発達課題について考える。		第28	国際社会と人類の課題	国際連合の役割と核兵器や軍縮問題について考える。	
	第14	同上	青年期の特質と発達課題について考える。		第29	同上	同上	
第15	まとめ	前期のまとめを行う。		第30	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容								
関連科目								
教科書		佐々木毅他『現代社会』(東京書籍)						
参考書		帝国書院編集部編『標準高等地図(初訂版)』(帝国書院)						
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員								
備考		基礎的な学力を身につけるため、小テストを繰り返す。						